

第8回 在宅医療とみんながつながる会

ご報告

開催日時:平成27年6月17日(水) 18:30~20:30 会場:フォレスト仙台

内容

【情報提供】

「在宅ケアの診療報酬と介護報酬」
 仙台往診クリニック 院長 川島 孝一郎

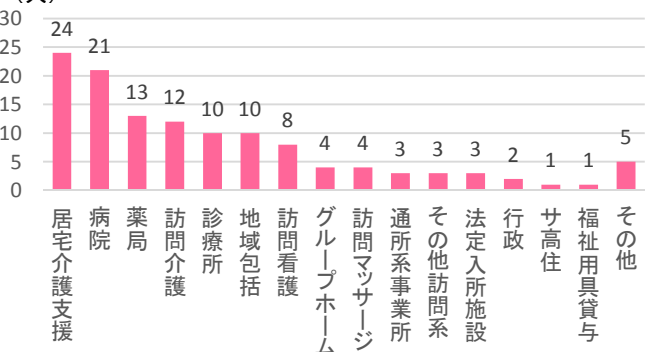
【情報提供】

「つながりライン」について

【情報交換】

ティータイム キーワード「在宅医療と介護の報酬を軸に在宅ケアのことを考えてみよう」

参加人数124名 内訳



今日はお茶のくじ引きですか！



昨年新しくなりました、仙台市立病院連携室長の阿部様に、開会のご挨拶を頂戴しました！



ティータイム、報酬のことをテーマに、皆さま真剣に話をされています。

介護報酬改定のポイント、看取りまで行う体制があること、重症者の受け入れです。



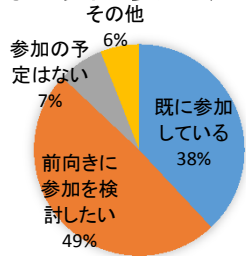
今日はありがとうございました。名刺交換、次につながりますように！



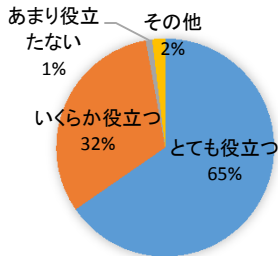
グループホーム協議会長の蓬田様に、開会のご挨拶を頂戴しました！

当日アンケート結果(抜粋)

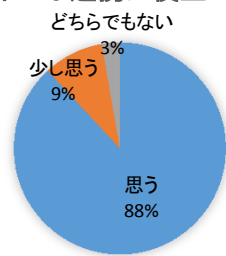
つながりライン参加 (N=100)



情報提供を聴いて (N=104)



ティータイムは連携に役立つ (N=109)



「在宅ケアの診療報酬と介護報酬」を聞いて

在宅医療の分野でも、状態像に応じた報酬が定められる方向性であるということが良く分かりました。

今後の報酬の傾向と他職種の方々の意見を伺って貴重な時間を頂きました。

在宅へ言いながらも報酬を下げるのはおかしい。

介護報酬の現状を知ることがなかなか無いので良かった。

重症度に応じた評価は大事だと思います。

やはりどの事業所も報酬の下がった事で困っているようです。

介護報酬引き下げで要支援認定の方々の受け入れが薄くなっている。時間短縮とか入浴なし等。

報酬を効率良く取得しながら、質の担保ができるようにしていきたいと思えます。

もう少し時間をかけて話して欲しかったところ。医療の方は言葉としてわからない部分も多いので。

ティータイムの時間について

多職種の様々な意見を聞いて良かった。現場の素直な話が聞ける貴重な場でした。

偶然ですが、Ns、主任CM、DS、薬剤師と同席でき有意義でした。話はまだまだ尽きませんが。

業種がバラバラ過ぎて内容に合う話がなかなか出来ない。出来れば同業種の意見交換の場がほしい。

他職種の方の意見が聞いてよかった。薬剤師に対する質問も頂けて、相互理解に繋がりました。

グループワーク以外の人達との会話の時間が欲しい。(いろんな人がいるので。)

職種幅が広がった。グループ発表にて、他のグループが話し合った内容の方が気になりました。

意図的に職種を配置したグループ分けが面白いと思う。

薬剤師の方がお薬を持って訪問し、説明し、薬の区分けを行うと聞きました。認知症の方は薬をたくさん貯めているので指導して頂ければと思う。

テーマの細分化が必要かも。

テーマが少し難しかった。

たくさんのご意見ご感想をありがとうございました。次回の参考にさせていただきます。さて、県の補助金による「つながる会」は、あと1回を残すのみとなりました。今後どのように維持、運営していくか、次回はご意見を頂戴したいと存じます。それでは来年1月の第9回目も皆さまのご参加お待ちしております！(事務局より)